

京都中央信用金庫は、風光明媚な世界有数の観光都市、そして京都議定書採択の地である、“京都”を地盤とする信用金庫として、地域社会の持続的発展のため、“On Your Side ～ 地球がうれしい ～”をスローガンに、地域社会ひいては地球全体の環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組みます。

当金庫は、サステナビリティ方針（環境方針、SDGs 方針、環境・社会に配慮した投融資方針を内包）に則り、本店ビルにおける環境マネジメントシステム（ISO14001 認証）を運用して環境に配慮した事業活動を展開する中で、事務センターや営業店等を含めた金庫全体で、省エネ・省資源・ペーパーレス／デジタル化・3R 資源循環等の推進に取り組んでいます。

目標として、「事業活動におけるCO₂排出量削減」と、お客さまの社会・環境関連の取り組みをご支援する「サステナブルファイナンス実行」を掲げ、推進しています。



CO ₂ 排出量削減 (Scope1+Scope2)	目標 (2030 年度までに 2013 年度比)	実績 (2023 年度 2013 年度比)
	▲50%	▲42%

サステナブルファイナンス実行額	目標 (2030 年度末までの累計)	実績 (2023 年度末累計)
	5,000 億円	1,924 億円

自然資本に関する適切な情報の開示と、ネイチャーポジティブ（自然再興）に貢献する取組みを検討・推進していきます。

脱炭素につながる商品・サービスの提供によって、お客さまのエコライフを後押しするとともに、職員に職場と家庭でのデコ活アクション推進を推奨しています。

Let's デコ活！
 デコ活とは
 「**脱炭素**につながる**新しい働き方暮らし**を創る**国民運動**」です。
 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、
 地域のみならず**デコ活の輪**を広げていきましょう！

【環境配慮型店舗】

新設・建替店舗は、太陽光発電・全館 LED 照明・照度センサー・人感センサー・高効率空調・全熱交換器・Low-E ガラス等を標準仕様としています。

2024 年 8 月新築移転オープンした草津支店・草津駅前支店は、設計一次エネルギー消費量を 51%削減し、ZEB Ready 認証を取得しています。



【リサイクルシステム】

- 2021 年より新たなリサイクルシステムを導入。本支店から出る保管切れの書類や伝票などを回収し段ボールに入れて搬出。段ボールごと溶解処理し、段ボール原紙を生成しています。



- 2024 年 10 月、ENEOS(株)と提携し、家庭系廃食油の回収を久我支店において開始しました。回収は専用リターナブルボトルを利用し、廃食油は石鹸・インクへの再利用や航空燃料（SAF）の原料として活用される予定です。



【環境配慮型商品の提供】

事業性商品例	●グリーンローン グリーンプロジェクト（環境改善効果がある事業であり、再生可能エネルギー事業、省エネ構造物の建設・改修、環境汚染の防止・管理など）に資金用途を限定。資金のモニタリングや定期的なレポートングを通じ透明性を確保します。 ●サステナビリティ・リンク・ローン（京都ゼロカーボン・フレームワーク活用） 京都府と連携し、府内企業の脱炭素化支援を目的とするローン。脱炭素に取り組む企業が CO₂ 排出量削減目標を設定し、その達成状況に応じた金利優遇を行います。 ●京都中信カーボンニュートラルサポートローン 温室効果ガスの排出量削減およびカーボンニュートラル達成に向けた設備資金への支援を通じて、顧客の脱炭素経営への転換をサポートします。
--------	---

消費性商品例	●中信マイカーローン（エコカー優遇） ご融資利率の優遇を通じて、エコカーの取得を支援します。 ●無担保住宅プラン「NEW ラッキーすまいる（エコリフォーム優遇）」 ご融資利率の優遇を通じて、エコ関連設備の購入・設置を支援します。	
--------	--	---

【節電行動の徹底】

クールビズ・ウォームビズの実施、空調機の温度設定、デマンドコントロールシステムの導入等の節電行動の徹底に努めています。

また、DX 推進の一環として、業務用 PC の大半を「据置型」から「モバイルノート型／タブレット型」へ変更しました。消費電力の大幅な削減を実現するとともに、全職員がお客さま宅での接客から会議・研修の場まで利用できペーパーレス化促進にも寄与しています。

【シェアモビリティポートの設置】

地域課題オーバーツーリズムへの対策、当金庫遊休スペースの有効活用等を目的に、シェアモビリティ事業者3社と提携し、京都市内8店舗にシェアモビリティサービスのポートを設置しました。



【地域清掃活動】

地球環境保全・啓発活動の一環として地域の清掃活動に積極的に取り組んでいます。一人ひとりが環境やゴミ問題に関心を持ち、地球にやさしい街づくりを考え、行動する大切な機会となっています。

- ・「ゴミゼロの日」ボランティア清掃活動
- ・「琵琶湖一斉清掃」
- ・「びわ湖の日」清掃活動
- ・「環境美化の日」清掃活動 等



【脱炭素アドバイザーの養成】

環境省が脱炭素アドバイザー資格として認定した民間資格の取得を職員に推奨し、お客さまのサステナブル経営をサポートできる職員の育成に努めています。

【物品のエシカル化】

- マイクロプラスチックによる海洋汚染防止、木材の地産地消への貢献を目的として、役職員のネームプレートを「プラスチック製」から「地元木材／みやこ杉木製」に変更しました。

また、プラスチック製手提げ袋の廃止、「紙ストロー・紙製カトラリーセット」の粗品採用、現金封筒の店内・店舗外 ATM コーナー備付廃止等、環境負荷軽減に寄与する取組みを進めています。



- 2024 年 7 月から、環境にやさしい素材の通帳を順次導入しています。素材は、「紙クロス、ベジタブルオイルインク、FSC®認証紙、ユニバーサルデザインフォント」を使用しています。

